

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2018年11月13日

【四半期会計期間】 第94期第2四半期(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

【会社名】 大同特殊鋼株式会社

【英訳名】 Daido Steel Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 石 黒 武

【本店の所在の場所】 名古屋市東区東桜一丁目1番10号

【電話番号】 052(963)7523

【事務連絡者氏名】 経理部長 丹 羽 哲 也

【最寄りの連絡場所】 東京都港区港南一丁目6番35号 東京本社

【電話番号】 03(5495)1253

【事務連絡者氏名】 東京総務室長 田 中 明

【縦覧に供する場所】 大同特殊鋼株式会社東京本社
(東京都港区港南一丁目6番35号)

大同特殊鋼株式会社大阪支店
(大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2017年11月14日に提出いたしました第94期第2四半期（自 2017年7月1日 至 2017年9月30日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建産機需要の回復等を受け前年同期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄屑の価格は、中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前年同期比で上昇しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で上昇しています。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は前年同期比15.7%増加の903億49百万円、営業利益は数量増が寄与し前年同期比21億80百万円増益の47億86百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比31.9%増加の74億96百万円となりました。営業利益は前年同期比5億5百万円増益の13億22百万円となりました。

(訂正後)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建産機需要の回復等を受け前年同期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄屑の価格は、中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前年同期比で上昇しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で上昇しています。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は前年同期比16.1%増加の914億55百万円、営業利益は数量増が寄与し前年同期比21億80百万円増益の47億86百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比28.5%増加の63億90百万円となりました。営業利益は前年同期比5億5百万円増益の13億22百万円となりました。

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	78,081	71,122	46,671	11,450	5,684	213,010	—	213,010
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	30,737	7,299	10,460	773	5,782	55,054	△55,054	—
計	108,819	78,421	57,131	12,224	11,467	268,064	△55,054	213,010
セグメント利益 又は損失(△)	2,606	7,495	△1,610	330	817	9,639	3	9,643

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	90,349	81,068	51,733	10,471	7,496	241,119	—	241,119
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	30,741	7,021	10,042	1,060	5,647	54,513	△54,513	—
計	121,090	88,090	61,775	11,532	13,143	295,632	△54,513	241,119
セグメント利益	4,786	10,777	1,165	675	1,322	18,728	△1	18,726

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(省略)

(訂正後)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	78,791	71,122	46,671	11,450	4,975	213,010	—	213,010
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	30,027	7,299	10,460	773	5,782	54,344	△54,344	—
計	108,819	78,421	57,131	12,224	10,757	267,354	△54,344	213,010
セグメント利益 又は損失(△)	2,606	7,495	△1,610	330	817	9,639	3	9,643

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	91,455	81,068	51,733	10,471	6,390	241,119	—	241,119
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	29,635	7,021	10,042	1,060	5,647	53,408	△53,408	—
計	121,090	88,090	61,775	11,532	12,038	294,527	△53,408	241,119
セグメント利益	4,786	10,777	1,165	675	1,322	18,728	△1	18,726

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(省略)